

■10月19日

ジェットスター・ジャパン(LCC)、日航などに追加資金を要請

(時事ドットコムによると)

ジェットスター・ジャパンは18日、大株主の日本航空などに追加出資を要請する方針を固めた。

就航後1年の2013年6月通期決算で88億円強の純損失を計上、自己資本が5億円強まで減少し、債務超過に転落する恐れが強まったため。今後、具体的な増資額などを協議する。

ジェットスター・ジャパンは12年7月就航。成田を拠点に、札幌(新千歳)、福岡、那覇、関西などの各空港に向かう国内線を運航している。

就航以来、ブランド浸透を図るため値下げキャンペーンを繰り返したことが裏目に出て、売上高に当たる営業収入が低迷。また、計画していた関空の拠点化が遅れたことで、保有する18機のうち稼働しているのが12機にとどまり、無駄なコストの発生要因となっている。

(時事ドットコム)10/18

http://www.jiji.com/jc/c?g=eco_30&k=2013101800945 (-> http://www.jiji.com/jc/c?g=eco_30&k=2013101800945)

HIS、長崎—バンコク、チャーター便を年内にも運航

旅行大手エイチ・アイ・エス(HIS)会長で、ハウステンボス社長の澤田秀雄氏は17日、早ければ年内にも長崎—タイ・バンコクのチャーター便を運航する方針を明らかにした。ハウステンボスへの東南アジアからの来場者が増加傾向にあるため、当初は来夏ごろとしていた計画を前倒しする。

運航航空会社は、昨年HISが設立したチャーター便専門の「アジア アトランティック エアラインズ」。同社は現在バンコク—成田、関西を結んでいる。

また、長崎新聞によると、澤田氏はハウステンボスヘカジノを含む統合型リゾートが誘致できれば、近隣に飛行場が必要との構想を示し、「70人乗り程度の航空機を飛ばし、台湾や韓国、中国などからピストン輸送で数多く誘客したい」と話した。構想は既に佐世保市に打診しており、同市幹部は「ハードルは高いだろうが、不可能とは言い切れない」としている。

(長崎新聞)10/18

<http://www.nagasaki-np.co.jp/news/kennaitopix/2013/10/18085438011714.shtml> (-> <http://www.nagasaki-np.co.jp/news/kennaitopix/2013/10/18085438011714.shtml>)

スカイマーク、米子—成田・神戸線、片道割引運賃9800円

スカイマークは18日、同社の中国地方初の就航地となる「米子空港」に12月20日から成田、神戸、茨城を結ぶ3路線の開設並びに運航ダイヤを発表した。

「米子—成田線」、「米子—神戸線」は1日2往復4便体制にて、「米子—茨城線(経由便)」は、神戸での経由便で1日1往復、それぞれ運航する。

普通運賃は片道、「米子—成田線」14,900円、「米子—神戸線」10,000円、「米子—茨城線」14,900円。割引運賃として、搭乗3日前までに予約すると割引となる「フリー3」を設定し、「米子—成田線」「米子—茨城線」は9,800円、「米子—神戸線」を4,800円とした。

(スカイマークプレスリリース)10/18

http://www.skymark.jp/ja/company/press/131018_press_schedules.pdf (-> http://www.skymark.jp/ja/company/press/131018_press_schedules.pdf)

http://www.skymark.jp/ja/company/press/131018_press_schedules.pdf (->

http://www.skymark.jp/ja/company/press/131018_press_schedules.pdf)

【運航ダイヤ:2013年12月20日~2014年1月31日】

☆米子→成田

便名	運航時刻
824	11:00 - 12:25
826	18:15 - 19:40

☆成田→米子

便名	運航時刻
823	08:45 - 10:20
825	16:00 - 17:35

☆米子→神戸

便名	運航時刻
122	09:15 - 09:55
128	20:55 - 21:30

☆神戸→米子

便名	運航時刻
121	07:55 - 08:35
127	19:35 - 20:15

☆米子→茨城(神戸経由)

便名	運航時刻
282	09:15 - 11:45

☆茨城→米子(神戸経由)

便名	運航時刻
287	17:35 - 20:15

※上記運航ダイヤは国土交通省認可申請中です。

エアアジア・ジャパン(LCC)、9月利用実績、搭乗率78.0%

エアアジア・ジャパンは18日、2013年9月の利用実績を発表した。全体の搭乗率は78.0%で、国内線は23.0%増の84.0%、国際線は68.6%だった。

国内線搭乗者数は5万3405人(前年同月比25.2%増)で、提供座席数は6万3540席(同1.7%増)。路線別の搭乗率は、成田→札幌線と9月末で撤退した成田→那覇線で87%を超えたという。

一方、国際線搭乗者数は2万8171人、提供座席数が4万1040席。成田→台北線の搭乗率は90.2%を記録した。台北線が好調な一方、国際線全体の搭乗率が7割を下回っていることから、韓国路線の需要が低迷しているとみられる。

(aviationwire)10/18

<http://www.aviationwire.jp/archives/27367> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/27367>)

下地島空港、訓練誘致目途立たず

沖縄県管理のパイロット訓練空港、下地島空港に関し、県土木建築部は9月以降、実機訓練や試験機など計21企業・団体に誘致を働きかけたが、現時点でめどがたっていないことを17日、県議会決算特別委員会で明らかにした。12月中旬に方向性が決まらなければ来年度以降、下地島が休港する可能性も生じる。

現時点では空港の維持に必要な約4億円(2013年度)が確保できるめどは立っておらず、県は県財源での補填に特例を求める議案を11月議会に提出することも視野に入れているとみられる。

また、日航が12年度にパイロットの実機訓練から完全撤退したことに伴い、現地で空港の管理業務を担っている下地島空港施設株式会社への委託料を、それまでの約3億8千万円から約2億6千万円へ減らしたことも明らかにした。

同委員会で、嘉手納良文県空港課長は、回数に応じて訓練使用料を支払う「従量制」を全面導入した場合に関し、「年間の管理運営費4億円を確保するためには約6700回の訓練回数が必要と試算している」と説明した。

県は実機訓練に関し航空会社15社、試験機・航空機製造メーカー2社に加え、航空宇宙分野などの誘致も進めている。だが、シミュレーター施設の発達で実機訓練が減った背景などから難航している。

(琉球新報)10/18

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-213994-storytopic-3.html> (-> <http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-213994-storytopic-3.html>)

(沖縄タイムス)10/18

http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-10-18_55454 (-> http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-10-18_55454)

山形空港、羽田便増便—国交省コンテストに応募

山形県と日航、東北観光推進機構などは共同で、地方空港路線の充実を目的に国交省が羽田空港発着の3路線を配分する政策コンテストへ、「山形線の複数便化」を応募した。東日本大震災で減少した東北への外国人観光客の回復に取り組み、山形空港が復興の一翼を担う姿勢を前面に出した。

県交通政策課によると、山形—羽田便の複数便化について▽東北のインバウンド(海外からの旅行)観光の復興▽ビジネス交流の拡大▽山形空港の代替性機能の維持—を目的に掲げ、それに必要な施策を提案した。

山形—羽田線は1991年のピーク時、1日5便運行し年間約47万人が利用していたが、翌年開業した山形新幹線の影響を受けて利用者が減少。99年に1日1便となり、2012年には約2万8000人に落ち込んでいる。

(河北新報)10/18

<http://www.kahoku.co.jp/news/2013/10/20131018t52009.htm> (->

<http://www.kahoku.co.jp/news/2013/10/20131018t52009.htm>)

(山形新聞)10/16

http://yamagata-np.jp/news/201310/16/kj_2013101600329.php (-> http://yamagata-np.jp/news/201310/16/kj_2013101600329.php)

ユナイテッド航空、羽田—サンフランシスコ線、米運輸省に申請、アメリカン航空撤退を受けて

(WSJによると)

ユナイテッド航空を運営するユナイテッド・コンチネンタル・ホールディングスは17日、米運輸省に対し、サンフランシスコ—羽田便の運航権を申請した。アメリカン航空が16日、羽田・ニューヨーク便を廃止する方針を明らかにしたことを受けた動き。

日米の二国間協定に基づき、米国の航空会社には羽田便が1日に4便配分されている。ユナイテッドは申請の中で、ユナイテッド航空のハブ空港であるサンフランシスコ国際空港と羽田間の直行便を毎日運航することで、アメリカン航空が放棄した「限られた価値のある(権利)を即座に最大限に活用したい」と表明した。

ユナイテッドはまた、羽田への運航がサンフランシスコ—成田間の直行便を補うことになると主張した。成田空港は羽田空港と比べて東京都心から離れているため、ビジネス客には一般的にあまり人気がない。

アメリカン航空は16日、12月1日の運航を最後に羽田とジョン・F・ケネディ国際空港(ニューヨーク)間を毎日結んでいる直行便の運航から撤退すると明らかにした。アメリカン航空は、羽田空港の国際線の発着時間制限のため乗客の乗り継ぎ便が制限され、「極めて不採算」に陥っていたと説明した。

アメリカン航空は4年前に羽田空港への運航権を獲得。この時、デルタ航空も米国から羽田空港への1日2便、ハワイアン・ホールディングスの子会社、ハワイアン航空も1日1便の運航権を確保していた。

(WSJ)10/18

<http://online.wsj.com/news/articles/SB10001424052702304134704579142551701850222?mg=reno64-wsi> (->

<http://online.wsj.com/news/articles/SB10001424052702304134704579142551701850222?mg=reno64-wsi>)

上海空港、9月、航空機離発着数、前年同期比1.2%増

(China Pressによると)

2013年10月18日、上海浦東国際空港、上海虹橋国際空港を運営している、上海国際機場が、2013年9月の経営報告を発表した。

報告によると、上海空港2013年9月の航空機離着陸数は、2012年同期比で1.2%増の3万1589機(回)であった。内、国際路線航空機離着陸数が、前年同期比7.2%増の1万1702機(回)を占めている。また、9月の乗客乗降数は、2012年同期比6.3%増の412万5200人(回)。9月貨物取扱量は、前年同期比3.1%減の25万3300トン。9月国際路線乗客乗降数が、前年同期比18%増の163万7900人(回)。国際路線貨物取扱量が、前年同期比4.4%減の18万5900トンとなる。

(China Press) 10/18

<http://www.chinapress.jp/pd/38784/> (-> <http://www.chinapress.jp/pd/38784/>)